

News Release

2010年2月9日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

『大分県内設備投資の方向性』を発行

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏 稔、以下「DBJ」という。）は、このたび「大分県内設備投資の方向性」と題した調査レポートを作成いたしました。

大分県の設備投資は製造業大手を中心に高水準を維持し続けてきましたが、DBJが毎年実施している設備投資動向調査の昨年8月調査におきまして、それまでの大型投資の一段落等により2年連続の減少となりました。また、一昨年夏以降の米欧発金融危機に端を発する経済環境の悪化が、大分県内企業の設備投資にも大きな影響を与えてきていることは言うまでもありません。

このような状況下、DBJ九州支店において、九州地域の当年度設備投資計画に係る足下の修正状況や今後の方向性について把握するため簡易アンケート調査を実施しました。

当レポートは、上記のアンケート調査結果をもとに、大分県内の設備投資の方向性について考察したものです。

当レポートの詳細は、DBJウェブサイト「地域・海外レポート（九州）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/kyusyu/index.html>）に掲載しておりますので、ご参照ください。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後も地域の皆様のお役に立てる情報発信に積極的に取り組んでまいります。

【お問い合わせ先】

大分事務所

電話番号097-535-1411